

# 明石高専 同窓会通信 第7号

〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3

明石工業高等専門学校・同窓会

TEL・FAX (078) 946-6186

| 目 次                                 |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 初心                                  | 梶田 勝也 1         |
| 明石高専の最近の動き                          | 高 久晴 2          |
| NPO設立のお知らせ                          | 技術者集団ACT135明石 3 |
| 母校に赴任して                             | 荘所 直哉 4         |
| デザコン 2005                           | 八木 雅夫 5         |
| ロボコン近畿大会制覇                          | 6               |
| 「澤孝平先生退職記念事業会からのお知らせ」, 「同窓会からのお知らせ」 |                 |
| 「事務局からのお知らせ」 . . . 7, 8             |                 |

## 初 心

理事 土木工学科20回卒 梶田 勝也

「これまでいったい何時間電車に乗ったのだろうか？」

みなさんは普段どんな方法で通勤されていますか。電車、自動車、自転車など、徒歩の方もおられるでしょう。或いは、仕事場と自宅が同一で通勤は不要という方もおられるのではないのでしょうか。私はほぼ毎日、往復で約2時間電車に乗っています。1ヶ月に20日間通勤するとして、約40時間、12ヶ月で480時間は電車の中にいるという計算になります。

この時間をどう過ごすか(使うか)。読書をする、音楽を聴く、いろんな過ごし方があると思います。常々、有効に活用したいと考えてはいますが、座るとほとんど眠ってしまいます。眠ることも時には有効な時間の過ごし方なのですが。最近では前日のテレビドラマかなにかをDVDに録画して電車の中で見ている人がいます。携帯電話で“メール”するスーツ姿の男性、気合いを入れて化粧をする女性、自分の部屋にいるかのようにおしゃべりをする女子高校生など様々な人たちが1つの車輦に乗り合わせています。そんな人たちを観察するのも結構楽しいものです。自分は周りからどう見られているのかと考えながら。

毎日同じような光景を目にしながら同じ電車通勤を繰り返しています。仕事も同じような作業の繰り返しが多く、緊張感の持続が難しくサボりたくなることもあります。そんな時に心がけていることは、“初心”にかえることです。就職して20年、その経験が邪魔するのか生意気になっただけなのか、なにかと「文句」を言いながら仕事をしていますが、同時に初心に立ち返り謙虚な気持ちで仕事をする事の大切さを感じるようになってきたことも確かです。仕事の辛さや厳しさを体験し、一方では楽しさや達成感などその意義について考えることもあります。また、先輩のみならず年々増える後輩の人たちにも助けていただく場面が増えてきました。人と人との繋がりの大切さを実感しつつ、毎日を過ごしています。

これからも、電車での通勤のような繰り返しで、単調に見える毎日の仕事の中にある新しい出会いや発見などに感動しながら“初心忘れるべからず”で楽しく、緊張感を持って、精一杯頑張っていきたいと思っています。

## 明石高専の最近の動き

校長 高 久晴

同窓会会員の皆様方に、最近の本校の動きのうち目ぼしい事項についてご報告いたします。

まず、本年度の学生活動として最も嬉しかったことは、高専ロボコン全国大会への久方ぶりの出場と、全国高専デザインコンペティション(デザコン)を本校が主管校として開催したことです。ロボコンについては、近畿地区大会で予想外(!)の好調さで優勝し、平成11年以来6年ぶりに国技館での全国大会に出場しました。久しぶりの出場ということで法被や垂れ幕等を新設し、4Mの学生を主体に国技館に応援に行きました。地区大会優勝校ということで初戦はシードされたのですが、仙台電波高専を相手の次戦では若干のミスで敗退してしまいました。国技館に何回も出場しているような学校は、応援団からしてウェアや電光飾付のパネルや幟等を準備万端であり、やはり場馴れの大事さを感じました。競技を行うロボット自体の性能についても全国レベルの高さを痛感させられたところであり、今回の出場が来年度以降にも是非繋がって欲しいと思いました。また、デザコンは、平成16年度からの法人化を機に、従前の全国高専建築シンポジウムを、建築以外の学科も参加出来るようにとデザイン全般を対象とし、かつ、内容も競技会的性格を強め高専連合会事業として発足したもので、昨年の石川大会に続く第二回大会を本校が主管校として開催したものです。兵庫で開催することから阪神・淡路大震災10周年記念事業として兵庫県や明石市との連携を図り、テーマも「復興+共生」として11月中旬に開催したところ、全国28高専から300人強の学生が参加し、盛大に開催されました。学生諸君の元気な取組状況を見ていると、このように学生がお互いに刺激を受けあう交流機会の場の重要性をあらためて感じさせられました。

また、高専への外部からの評価としては、昨年、(独)大学評価・学位授与機構による認証評価を受審したことが挙げられます。本校では、平成15年にJABEEの認証を受けましたが、認証評価は平成14年の学校教育法の改正で、「大学(高専)は教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに認証評価機関による評価を受けなければならない」と定められたことによるものです。その評価結果については、間もなく機構のホームページで本校が作成提出した自己評価書と一緒に公表される予定ですが、「優れた点」として18項目が挙げられ、高い評価を受けております。同窓会会員の皆様方も、ホームページにアクセスして、本校の最近の状況等をお目通し戴きたいと存じます。

更に今後の新たな動きとしては、昨年9月の高等専門学校設置基準改正に対応した高専への大学単位の導入や、インターンシップ活動のより円滑化等を目的として、現在の7月中旬から8月一杯の夏休み期間を、大学と同じく8月中旬から9月一杯までに移動することなどが検討されています。今後とも母校の動きについてご留意戴き、ご意見並びにご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 特定非営利活動法人 「技術者集団ACT135明石」設立のお知らせ

今般、NPO法人として、「技術者集団ACT135明石」を設立する運びとなりました。私達と一緒に事業に参画・支援して下さいる方々を募集しています。

### 1. 設立経緯

明石高専OBの間での、「明石高専を卒業した中高年齢技術者の持つ実務経験を効果的に活用し社会貢献する組織作り」についての話題が発端となり、各学科のOB有志が発起人となって、社会的に認められた公的な組織として、本NPO法人を設立しました。(H17.12.16に兵庫県庁に設立申請し、受理されました。認証はH18.3の予定)

### 2. 基本理念

私たちは卒業以来、技術者として自己研鑽と経験を積み重ね様々な分野で活躍してきました。これらの実務経験を学校教育の場や企業内教育を含めた社会教育の場で、助言・提言活動を通じて発揮していきます。

活動の対象は、明石高専テクノセンターとの協働をはじめ、自治体や企業との連携とし、地域社会に広く貢献していきます。

また、教育の推進だけにとどまらず、地域再生のまちづくりの推進、基礎的な科学技術の振興、ユビキタス社会に適応する情報技術指導及び教育、地域企業への技術相談による経済活動の活性化、発展途上国への技術支援等国际協力、さらにこれら活動に伴い要求される人材の拡充支援等に関する事業を行い、人の活動の原点であるものづくりに必要な幅の広い科学技術を普及し、人々が幸せに暮らせる次代の社会文化の発展に寄与したいと考えています。

私達の培った技術で

- ・若きエンジニアを育てます
- ・産業界に技術の水を注いで花を咲かせます
- ・社会に新たな風を送り繁栄の風車を回します



### 3. 会員

入会については、特に条件を定めていません。会員は次の2種です。

- ・正会員：この法人の目的に賛同して入会した個人。総会の構成員となります。
- ・賛助会員：この法人の事業を賛助するため入会した個人及び団体。

年会費は、正会員：10,000円、賛助会員（個人）：1口＝1,000円で5口以上、同（団体）：1口＝10,000円で3口以上とします。

なお、営利を目的とした事業は出来ませんので、配当等の還付は行いません。

正会員は、この法人の各種事業における様々な活動を能動的に行っていただくことを理想としますが、活動を責務として要求することはありません。



### 4. 名称について

ACTはACTIONとAkashi National College of Technologyの頭文字です。

135は日本標準時子午線と135%の成長目標を組み合わせました。



## 5. 参画/支援の申込方法

私達と一緒に事業に参画・支援して下さる方は、下記URLよりHPにアクセスしていただき、入会申込書をダウンロード願います。

<http://www.eonet.ne.jp/~officecrane/>

## 6. 賛同者（敬称略）

機械工学科卒業生：1回；赤桐伸二、藤原義弘、大幡道弘、常深真一郎、川角進、野中憲、藤原 仁、深津隆彦 3回；久保一史、古角茂春、牧野 豊、鈴木一幸、7回；横田博 10回；林原勝美 16回；國峰寛司（明石高専教員）

電気工学科卒業生：1回；高野治 2回；椿本博久（明石高専教員） 3回；浅尾進、神野章 15回；山本真二 22回；新堀博市

土木工学科卒業生：1回；安原正人、堀江脩、鶴目博 2回；鶴井建介 3回；中島恒夫、百田正雄、稲積隆志、嵯峨正剛、山川功、田村力、岡松耕作、田中隆一郎

4回；友久誠司（明石高専教員）

建築学科卒業生：8回；八木雅夫（明石高専教員）

明石高専教員 OB；愛原惇士郎（機械工学科、名誉教授）、澤孝平（都市システム工学科、元教授）、前田良昭（機械工学科、元教授）

明石高専テクノセンター長；中尾睦彦（電気情報工学科、教授）

## 母校に赴任して

### 建築学科 荘所 直哉

本校同窓会の皆様、はじめまして。建築学科第 28 期卒業の荘所直哉と申します。本校卒業後、複数の大学で主に研究活動を行っていました。この度、再び本校にご縁があり建築学科助手として昨年 4 月に赴任してまいりました。早いものでもう 1 年が過ぎようとしています。本校も独立行政法人化されたことや取り巻く社会環境の変化もあり、私が学生として過ごした雰囲気とはかなり変化しているように思います。過渡期の真っ只中といった感じでしょうか。ちなみに、私の専門分野は建築構造、特に木質構造の耐震性に関する研究を行っております。

さて、昨今、多くの同窓会で運営が苦況していることをよく耳にします。その原因の一つとして、若い同窓生の同窓会に対する関心が大変薄いことが挙げられます。私を含め、若い世代は受身の態勢でメリットがあるか否かを判断する傾向が強いように思います。今後の同窓会の運営にはこの方々に対しても魅力があり、メリットがある運営をするか知恵を絞る必要があると感じています。このような活動に私も微力ではございますが、運営に協力できれば幸いかと存じています。

最後に、同窓生の皆様のますますのご健康とご多幸をお祈りしつつ、挨拶を終えさせていただきます。今後ともご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

## 全国高専デザインコンペティション 2005 を終えて

八木雅夫

### (全国高専デザインコンペティション 2005 開催地委員会副委員長)

全国高専デザインコンペティション 2005 in AKASHI (略称=デザコン) は、昨年 11 月 18 日より 20 日まで明石市立産業交流センターを主会場に、明石高専が主管校となり阪神・淡路大震災 10 周年記念事業として開催されました。「人が生きる環境をかたちづくるための総合的な技術」としてデザインの領域を捉えなおし“復興+共生”をメインテーマに、構造デザイン、環境デザイン、プロポーザルの 3 つの設計競技が実施されました。全国 30 高専より 348 点の応募があり、予選を通過した 28 高専 30 学科 7 専攻の 311 名が本選に挑みました。全国規模の行事であり、期間中の応援やスタッフ等を含めた参加者数は延べ 1,011 名を数えました。デザコンはデザインを基軸とした日頃の努力の成果を競い交流しあう場であり、入賞者の喜びはひとしおであったと思います。

一昨年の石川県での開催に続き第 2 回目となるデザコン 2005 は、夏休みに子供たちを対象としたペーパーブリッジコンテストをブレデザインコンペティションと位置づけマイカル明石で開催するなど、地域との連携を前面に出し取り組みました。本選 3 日目には「いなみ野ため池ワークショップ」と題して、文化的景観として評価の高まる多数のため池群が残る稲美町周辺を歩き、意見交流の場を設けました。

本校からは 13 名が本選に出場し、次の学生が上位入賞を果たしました。

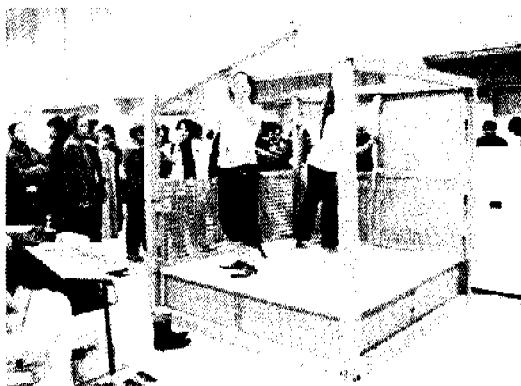
環境デザインコンペティション                      \*学年は開催時のものを示しています。

優秀賞 建築学科 4 年 井上亮太、 佳作 建築学科 4 年 内田ともえ

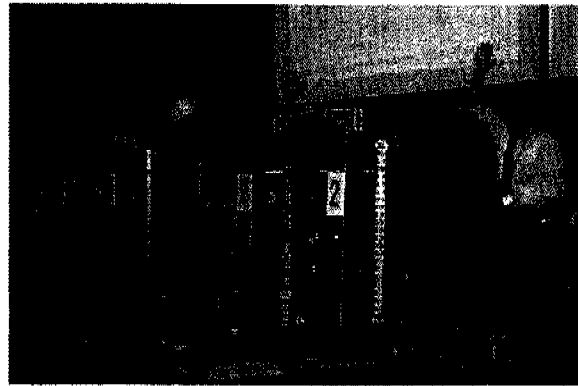
プロポーザルコンペティション

優秀賞 建築学科 4 年 菊池まさこ、高橋有佳里、村地亜里紗

デザコン開催にあたり同窓会より心温まる協賛をいただきました。ここに記し改めて感謝を申し上げます。



プロポーザルコンペティション



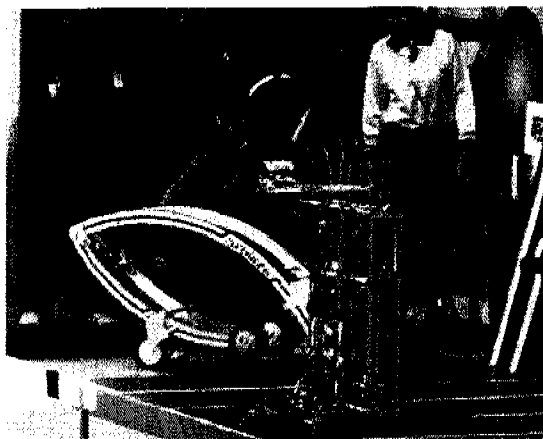
構造デザインコンペティション

## ロボコン近畿大会制覇

10月30日に高専ロボコンの近畿大会が大和郡山市総合公園施設多目的体育館で開催されました。テーマは「大運動会」、遠隔操作の手動ロボットが、梯子をくぐり、平均台を渡り、ハードルを越えて、自動ロボットにバトンを渡します。自動ロボットは壁を登り、バトンを所定の位置にはめ込んでゴールとなります。

明石高専 A チーム (curvilinear<カーヴェリニア>) が見事優勝し、特別賞も受賞しました。A チームは機械・電気情報工学科の4年生からなり、大会の為に集まったチームです。完成度、デザインも非常に優れたロボットで安定して動きで順調に勝ち上がりました。決勝では舞鶴高専 B チームを破り、全国大会出場を果たしました。

B チーム (revolve<リボルブ>) はロボット工学研究部チームで、学科・学年を越えたメンバーで構成されました。初戦で準優勝の舞鶴高専 B チームと対決し、善戦しましたが、ほんの僅か及ばず惜敗しました。両チームとも、素晴らしいマシンでした。(明石高専HPより)



白熱する競技



大運動会と銘打たれた会場

**澤 孝平先生退職記念事業会からのお知らせ**

都市システム工学科の澤 孝平先生は、平成 18 年 3 月 31 日をもって明石高専を定年退職されます。先生は昭和 48 年に本校に赴任以来、33 年間の長きにわたり土木工学科・都市システム工学科、専攻科建築都市システム専攻に在籍され、本校の要職を努めてこられました。特に JABEE の認定や専攻科の運営などは特筆されます。また、主事、専攻科長、学科長や担任およびバレーボール部の指導教員として多くの学生の教育、研究、生活・進路指導、課外活動などに従事されました。さらに、学外においては地盤工学会をはじめとする学会活動や各種委員会の委員長や委員を務められるなど枚挙に遑がありません。

先生のこの度のご退職を機に、今日までのご功績に報いるために以下の退職記念祝賀会を予定しております。皆様には、この趣旨にご賛同賜り、ご参列頂きますようお願い申し上げます。

**退職記念祝賀会**

日 時 平成 18 年 4 月 23 日 (日) 午後 2 時から  
場 所 シーサイドホテル「舞子ヴィラ神戸」 神戸市垂水区東舞子 18-11  
会 費 10,000 円  
連 絡 先 澤 孝平先生退職記念事業会事務局  
〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3  
明石工業高等専門学校 都市システム工学科内  
電 話 078-946-6183  
FAX 078-946-6184

**明石高専同窓会からのお知らせ**

平成 17 年 8 月 6 日に開催された同窓会役員会にて以下の議決がなされた。ご意見のある方は、同窓会事務局までお知らせください。

**(1) 名簿の発行について**

本会の事業として、名簿の発行が必要かを検討した結果、

- ・必要度や活用度は低い。
- ・発行の必要経費は約 400 万円であり、無料配布の持続は困難である。
- ・悪徳な使用方法から情報を守ることは困難である。
- ・個人情報保護法の観点から掲載を希望しない人も少なくない。

以上のことから今後、会員名簿の発行はしない。ただし、会員からの問い合わせには在校幹事が的確に対応する。

**(2) 総会について**

最近の総会に対する考え方の変化や出席率に鑑み、5 年に 1 回開催していた総会を、今後は行事などの特に必要なときに開催する。

**(3) 同窓会のホームページについて**

従来、同窓会の HP は、明石高専の HP にぶら下がっていたが、このたび学校の広報委員会の事情で独立する。そこで、全体の同窓会の下に各学科の同窓会をリンクする形で実施する。

**平成 18 年 3 月末日で退職される先生方**

|           |             |
|-----------|-------------|
| 機械工学科     | 教授 前田 良昭 先生 |
| 都市システム工学科 | 教授 澤 孝平 先生  |
| 建築学科      | 教授 渡邊 宏 先生  |

**事務局からのお知らせ**

- (1) 会費の納入について 会費未納分がある方は、名簿郵送時に同封の振り込み用紙を利用してご納入下さい。
- (2) 住所変更等の連絡について 住所などの変更がございましたら、お手数ですがハガキ、FAX あるいは E-mail にて下記の同窓会の事務局の方へご連絡下さい。
- (3) 原稿募集 同窓会通信の原稿を募集しています。同窓会への注文、近況報告など何でも結構です。下記事務局宛にお願いします。
- (4) 個人情報保護に関して 会員から提供していただいた情報に関しては、以下の方針で運用いたします。
  1. 会報の送付など本会の目的以外には使用いたしません。
  2. 個人情報は安全に配慮し、紛失や漏洩などの危険防止に努めます。

同窓会事務局の電話、FAX を設置しています。不急の連絡は下記の窓口へお願いします。なお、留守番電話と FAX の処理は 1 週間毎に行いますので、緊急の連絡は在校の幹事までお願いいたします。

**〔同窓会事務局〕**

〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3

TEL・FAX (078) 946-6186

**〔在校幹事〕**

椿本博久 (電気 2 回)

八木雅夫 (建築 8 回)

江口忠臣 (機械 20 回)

荘所直哉 (建築 28 回)

友久誠司 (土木 4 回)

國峰寛司 (機械 16 回)

藤原誠之 (機械 25 回)